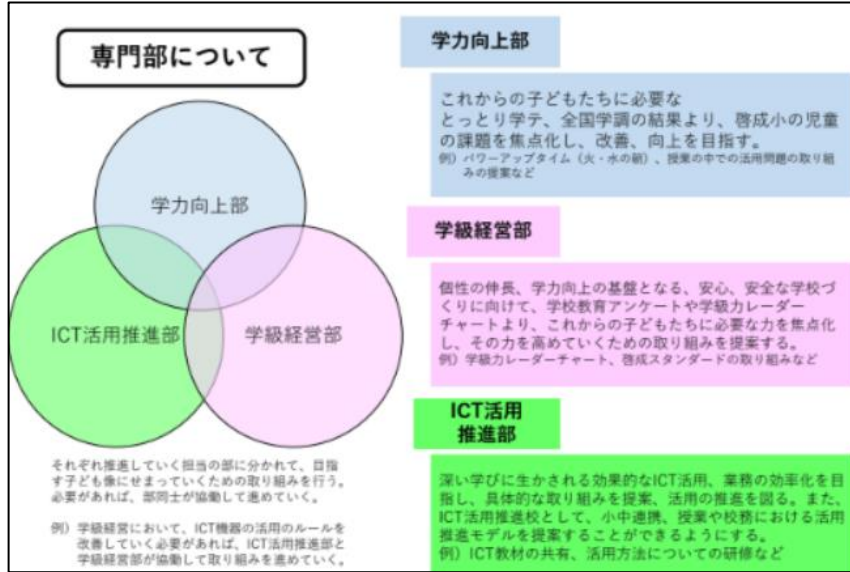


# リーディングDXスクール事業【実践事例】

米子市立啓成小学校（鳥取県）

## 【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰り推進に向けての取組



本校では、校内研究を推進していくための組織として、専門部会を設けている。その内の1つである、ICT活用推進部が端末の日常的な持ち帰りについて提案、推進していく立場を担うことになった。充実させていくために、必要に応じて他の部会と連携をとるようにした。

### 【実践】

2024年2月現在、全ての学年において持ち帰った端末で家庭学習を実施している。

### 1～6年生共通の取組

- 1～6年生において、宿題としてドリルソフトの課題を活用している。（3学期以降は週に2回を基本に持ち帰るようにしている。）6年生においては、Classroomのストリームを用いて、リアルタイムで分からない問題についての情報交換や、宿題完了報告を行うようにした。

### その他の取組

- 1、2年生では、生活科の学習に必要な写真を端末を活用して撮影してくるという課題を出した。
- 3年生では指定されたサイトのタイピング練習を行った。
- 6年生では、総合的な学習のまとめスライドづくりに取り組んだ。

### 専門部（ICT活用推進部）

#### 主な目的

深い学びに生かされる効果的なICT活用、業務の効率化を目指し、具体的な取り組みを提案、活用の推進を図る。また、ICT活用推進校として、小中連携、授業や校務における活用推進モデルを提案することができるようにする。

例) ICT教材の共有、活用方法についての研修など。

取り組み	実施時期、実施方法など
校内業務改善：児童の出欠 オンライン集会（教員） ICT活用研修（グループ） 学級経営・校務・授業改善など 実践の紹介	4月～ 6月中に研修を予定（希望者）
児童 持ち帰り学習 児童集会（委員会） 家庭学習として・長期休業の自主学習 クラブ活動発表 小中連携	→6月の土日（初めは高学年） 徐々に学年や内容を広げていく 持ち帰りのルール（中学校区のもの参考にして、自校のものを作る）